

# 事業PR版冊子の作成にあたって

➤ 原稿の報告書を客観的にとらえた上で、下記のポイントに留意しながら作成して参ります。

## 現行の報告書に見られる検討ポイント

### 情報の“見せ方”としての課題

「あいち森と緑づくり税」納税者の多くは、一般的な県民。この類の資料を読み慣れていない県民にとっては理解しやすい内容では決していない。

しかし…

### 表現(デザイン)としての課題

イラストや図表を多用しているものの、「報告書」の趣旨が強いため、事業への興味や森・緑への親しみが喚起され辛い。

そこで…

## PR冊子作成上のポイント

“行政機関として伝えたい事”



から、

POINT



“愛知県民として知りたい事”

へ、メッセージの視点を変えます!

# 現行冊子の構成



仕様 サイズ：A4 (蛇腹綴じ) / ページ数：**10P**

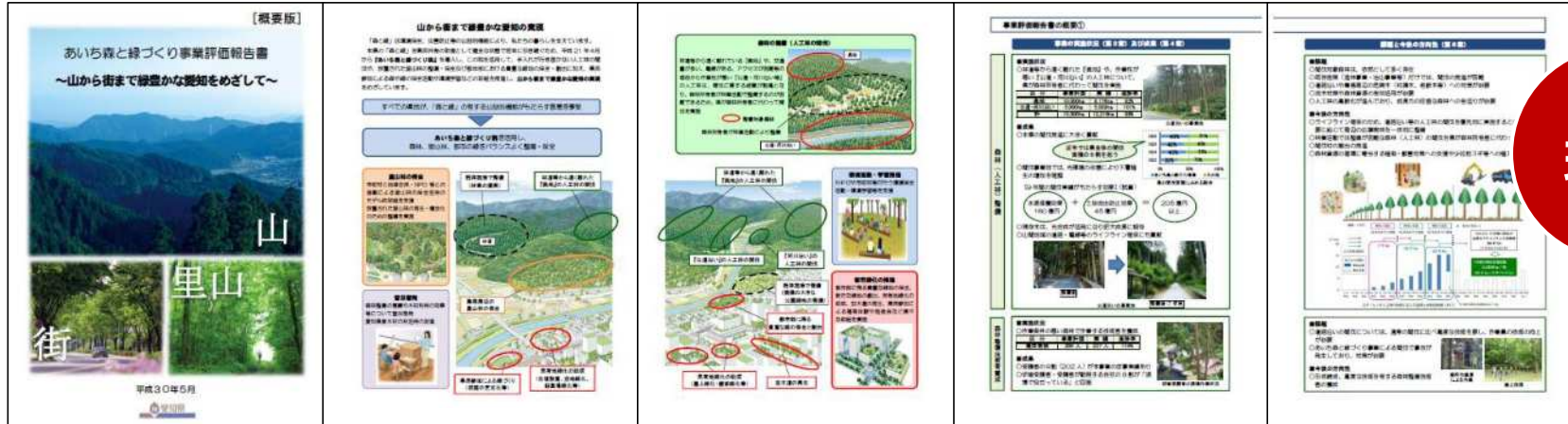


表1 P.1 P.2 P.3 P.4

**現行**

次ページP.5~P.6へ



表4 P.5 P.6 P.7 P.8

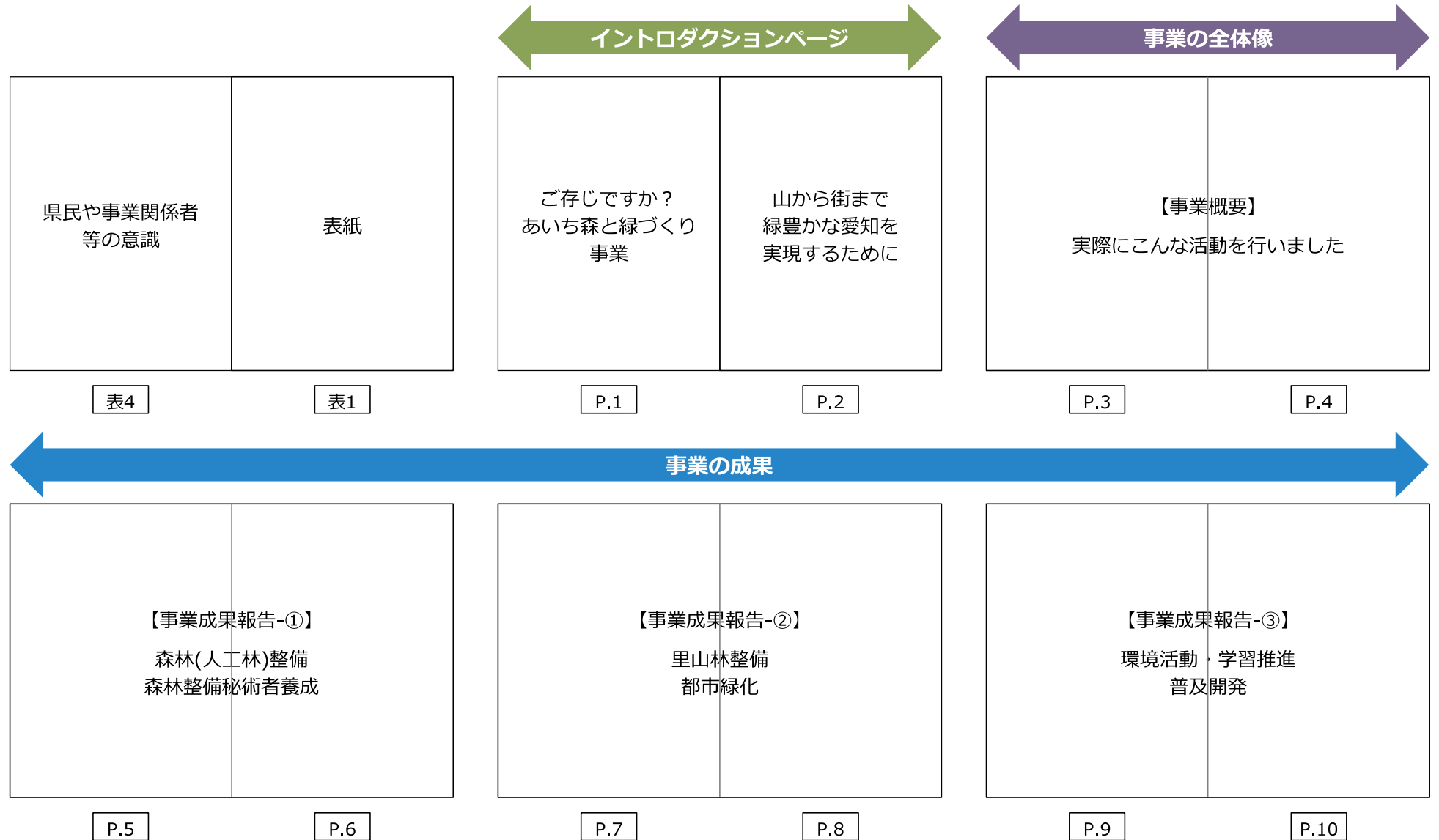
次ページ表4へ

次ページP.7~P.8へ

次ページP.9~P.10へ

# 1 リニューアル後のページ構成 (案)

仕様 サイズ : A4 (中綴じ) / ページ数 : **12P**



## 2 表紙

あいちの  
Forest & green  
森の緑  
づくり

ポイント



森と緑を連想させるグリーンを基調に、  
人の手の整備による、山・里山・街の共生を体現!

※写真は全て、撮影不要のダウンロード・フォトです。

※購入後の変更が困難ですので、写真の不都合・解釈の相違等  
ございましたら、事前にご指摘をお願い致します。



### 3 イン트로ダクション

ポイント

事業の必要性や、それにより得られる効用等、具体的取組を交え、県民に対する“自分ごと化”を促します。



皆様の  
**ワンコイン500円納税で**  
暮らし快適!豊かな未来!

＼ご存じですか?／  
**あいち森と緑づくり事業**

「森と緑」は環境保全、災害防止等の公益的機能により私たちの暮らしを支えています。  
県内にある「森と緑」は愛知県民の共有の財産。  
健全な状態で将来に引き継ぐため、平成21年度から「あいち森と緑づくり事業」を実施しています。

**未来の緑のためにあなたの500円を役立てています**

「あいち森と緑づくり事業」では、実際にどんなことをしているのでしょうか?

愛知県では平成21年4月に「あいち森と緑づくり税」を新たに導入。県内に住所などがある個人から県民税均等割額に年額500円を加算した額を、県内に事務所等を有する法人から県民税均等割額の5%を加算した額を、それぞれ徴収しています。皆さまからいただいた貴重な「あいち森と緑づくり税」は、手入れの行き届かない人工林の間伐や放棄された里山の整備・保全、都市部における貴重な緑地の保全・創出などに活用しています。併せて、県民参加による森や緑の保全活動や環境学習などの取組を推進し、山から街まで緑豊かな愛知の実現をめがけています。

緑豊かな愛知の実現に  
ご理解とご協力を!

「あいち森と緑づくり事業」の推進には、県民の皆さまのご負担が大きな支えとなります。私たちの暮らしにとって大切な緑を、一緒に未来へとつぎやいでいきましょう。

あいち森と緑づくり税	
個人 県内に住所などがある方で県民税均等割額をご負担の方	県民税均等割額の年額500円を加算 500円
法人 県内に事務所等を有する法人	県民税均等割額の5%を加算 1,000~40,000円

あいち森と緑づくり基金

県民の皆さまの理解とご協力により、寄付金を受け入れるために創設しました。

あいち森と緑づくり事業

森林、里山、都市の緑のバランスよく整備・保全するため、さまざまな取組を進めています。

山から街まで緑豊かな愛知を実現するために  
こんなことをしています

環境保全

二酸化炭素の吸収や蒸発散作用による温度調節など、地球の環境を整えます。

環境保全に資する森林を健全に育成するためには必要でありながら、森林所有者だけでは実施が困難な取組を実施しています。

災害防止

下草や落木、落ち葉などが雨水による土壌の侵食を防ぎ、木の根が土砂の崩壊を防ぎます。

人々の生活に寄り添った森林であり、私たちの暮らしを支えてくれる里山の整備・保全をさまざまな取組を進めています。

快適環境形成

ヒートアイランド現象を緩和したり、暴風や訪客のほか、空気中の汚染を軽減したりします。

民間の企業や個人の方が行う緑上緑化や緑地緑化などの取組に対し、費用の一部を助成し、民間緑化を推進しています。

文化・景観

森や緑の美しさが、行楽や芸術の対象となり、人々に感動を与え、都市景観に輝かせます。

県民や地域との協働による取組を進め、さらに充実させるため、その価値を顕在化する取組を支援します。

「森や緑」にはたくさんの働き(公益的機能)があります。「あいち森と緑づくり事業」では、私たちの暮らしに欠かすことのできない「森や緑」の持つ機能をさらに有効的に働かせるため、さまざまな取組を行っています。

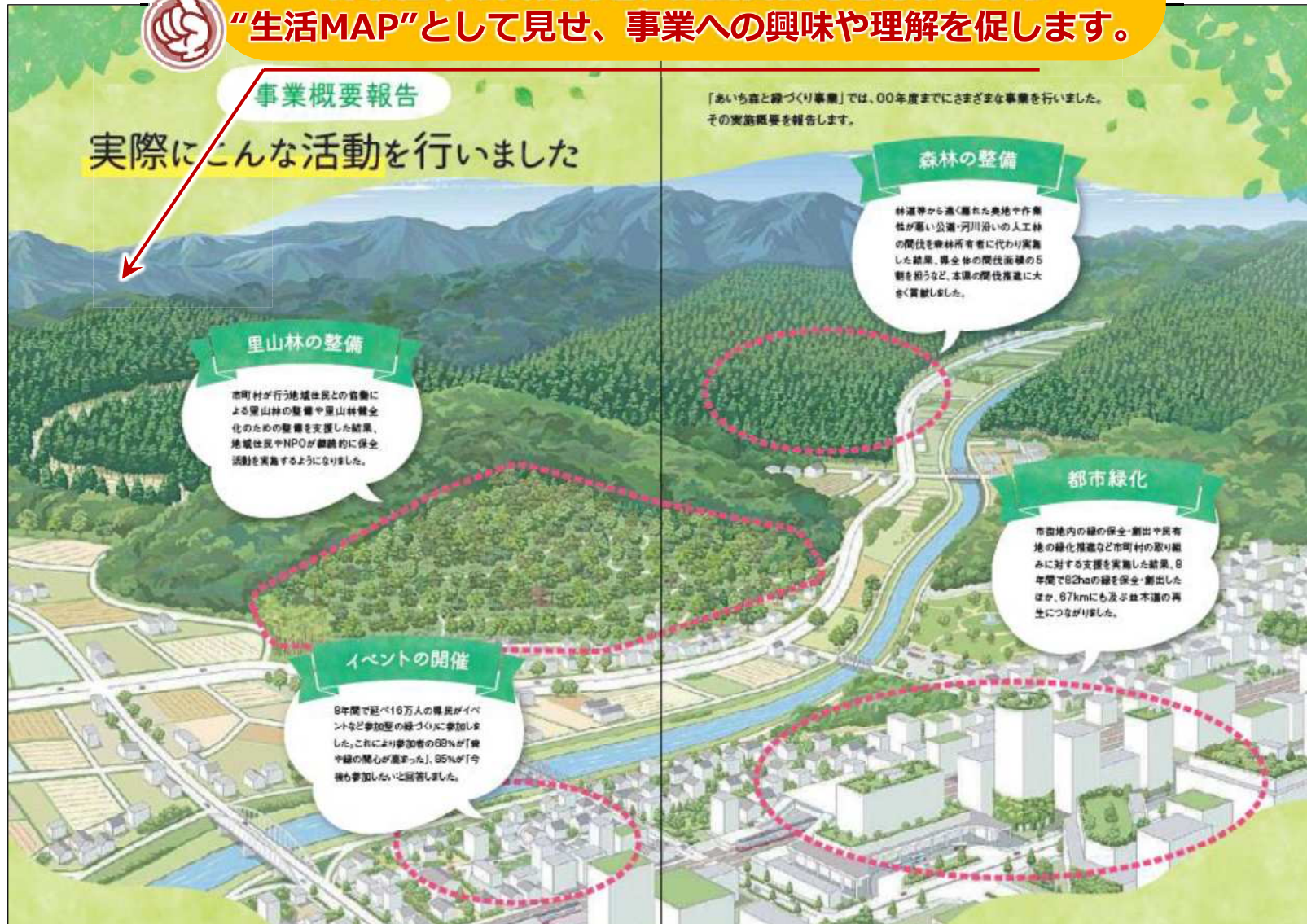
※イラストはイメージです。

## 4 事業の全体像

ポイント



各取組みの具体例を、県民目線でも分かるよう  
“生活MAP”として見せ、事業への興味や理解を促します。



5 事業の成果 ポイント

①取組内容 ②成果 ③課題 ④今後 といった“経緯”として理解できるように、ストーリー形式で紹介します。



### \\ あなたの 500 で //

## 森林(人工林)整備に取り組みました

#### 1 実際に行ったのは…

林道等から遠く離れた奥地や作業性が悪い公道や河川沿いの人工林について、森林所有者に代わり県が間伐を実施しました。  
合計15,000haに及ぶ総額での間伐を計画し、実際に行ったのは13,216ha。実施率は88%と、ほぼ計画通りに事業は進んでいます。

実際の林間

区分	事業計画	実績	達成率
奥地	10,000ha	8,174ha	82%
行動・河川沿い	5,000ha	5,042ha	101%
計	15,000ha	13,216ha	88%

#### 2 こんな成果が…

全体での間伐面積の5割を扱うなど、愛知県に広がる間伐推進に大きく貢献しています。実際に事業を行った地域では、光環境の改善により下層植生が増加していることが確認できました。

事業前(7月)

事業後

また、愛知県の試算によると、9年間の間伐実績で、木質資源効果が160億円、土砂流出防止効果が45億円、合計205億円以上の全体的な効果が出ていることが分かりました。

木質資源効果 160億円 + 土砂流出防止効果 45億円 = **205億円以上**

#### 3 こんな課題も…

大きな成果を出している一方、以下のような課題も見つかりました。

間伐の必要を森林は、お節にして多く蓄えています

高層用いや高層周辺の危険木(枯倒木、老朽木)への対策が必要です

奥地や険しい山道の有給活用が必要です

人工林の高齢化が進んでいます

#### 4 これからは…

以下のような活動を行います。

遠隔地や奥地人工林の間伐を優先的に実施します

森林の危険な地域の間伐を優先します

間伐材の燃焼を推進します

少気取入が奥地の植え替えを促進します

こんな未来が待っています!

私たちの暮らしにさまざまな恩恵をもたらす緑豊かな森林が整備されます。

### \\ あなたの 500 で //

## 森林整備技術者養成に取り組みました

#### 1 実際に行ったのは…

作業条件が悪い森林でも作業をしてくれる技術者の養成を行いました。  
当初の計画では200人の技術者を養成する予定でしたが、実際には計画を上回る227人を養成、それぞれ現場で力を発揮しています。

区分	事業計画	実績	達成率
養成者数	200人	227人	114%

#### 2 こんな成果が…

受講者の9割に当たる202人が、条件の悪い森林での間伐作業に従事してくれました。  
また、アンケート調査によると、研修受講者・受講者が参加する会社の9割が「現場で役立っている」と回答しています。

研修受講者の現場作業状況

#### 3 こんな課題も…

大きな成果を出している一方、以下のような課題も見つかりました。

遠隔地での間伐では、通常の間伐に比べ高層な伐倒が必要となります

作業員の技術的向上が必要となります

研修が成立していません

#### 4 これからは…

以下のような活動を行います。

高層な伐倒を旨とする森林整備研修者の養成を行います

こんな未来が待っています!

技術のある整備者により事業が進むことで、よりきれいに整備された森林が増えることとなります。また、整備者を確保することにより雇用状況も改善されます。

7